

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	国際短期大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	コクサイタンキダイガク
	大学等名1(代表大学等)学校所在地	東京都
	大学等名1(代表大学等)学校種別	私立短期大学
	大学等名2(連携大学等)	
	大学等名2(連携大学等)学校所在地	
	大学等名2(連携大学等)学校種別	
	科目名	インターンシップ1
	学部・研究科等名	国際コミュニケーション学科
	担当教職員名・役職	学長 高木明郎、副学長 浅野雅彦、教授 木村成彦、教務学生支援室 遠藤麻帆
	受講者数(H29年度実績)※インターンシップ参加者数	77
	受入企業等数	36
	受入企業等名	株式会社LAVA International、株式会社WAO!! STYLE、株式会社アゴーラ・ホスピタリティーズ、株式会社エム・エイチ・グループ、株式会社サマンサタバサジャパンリミテッド、株式会社スペース、株式会社タン企画(赤坂璃宮)、株式会社東京堂、株式会社東天紅、株式会社東立、株式会社中村塗装、株式会社なだ万、株式会社ニチケアパレス、株式会社藤田建装、株式会社ボディワークホルディングス、株式会社ヤマダヤ、株式会社ルネサスイーストン、株式会社レオパレス21、株式会社吉田園、ANA成田エアポートサービス株式会社、株式会社メモリード(アルカーサル迎賓館川越)、ギャップジャパン株式会社、サミット株式会社、スタジオアリス株式会社、東京ガスイズミエナジー株式会社、東京鋸螺工機株式会社、トーセイ株式会社、中野区国際交流協会、中野区障害者福祉会館、日昇ホーム株式会社、日本リビング株式会社、藤田グリーンサービス株式会社、プラスアンドカンパニー株式会社、丸磯建設株式会社、三中井株式会社、明成建設工業株式会社
	インターンシップの分類	5.他県をまたぐ広域インターンシップ 6.低学年(大学1年次～2年次程度)からのインターンシップ 8.大企業・グローバル企業でのインターンシップ 9.中小企業でのインターンシップ
上記以外のインターンシップの分類(記述欄)		
要素①	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事
	1-2.以外での就業体験の内容(記述欄)	
	1-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	インターンシップは1年次の学生を対象としている。派遣先は東京都内が中心であるが、神奈川県や埼玉県など都外にも及んでいる。大企業から中小企業まで、幅広い業界や職種でインターンシップ先を確保している。
要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するインターンシップの内容	2.当該インターンシップは、キャリア教育科目として実施している 4.当該インターンシップは、必修科目として実施している 8.当該インターンシップは、休業期間中に実施している
	2-2.以外で実施しているインターンシップの内容(記述欄)	
	2-3.当該インターンシップを実施する年次(記述欄)	1年次
	2-4.当該インターンシップで付与される単位数(記述欄)	1単位
	2-5.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	「インターンシップ1」は、1年次の必修科目(1単位)として開設している。企業等での就業体験は、原則として夏季の休業期間中に行っている。
3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	3-1-1.該当する事前学習の内容	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用方法を身に付ける授業等を行っている 2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている 3.学生に対して、インターンシップにおける成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている 4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している
	3-2-1.以外で実施している事前学習の内容(記述欄)	

要素③	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている 2.報告会等により、インターンシップの成果について、受入企業や担当社員へのフィードバックを行っている 3.振り返りを実施し、成果目標等の達成について確認を行っている
	3-2-2.以外で実施している事後学習の内容(記述欄)	
	3-2-3.該当するモニタリング	3.その他
	3-2-3.以外で実施しているモニタリングの内容(記述欄)	原則として担当教員等が学生の事前訪問に同行するか、インターンシップ中に訪問するようにしている。また、一斉休業中などは、担当教員が専用の携帯電話を持ち、学生および企業からの連絡に対応できるようにしている。
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細(記述欄)	1年次春学期に「インターンシップ入門」を必修科目(1単位)として開設し、事前学習を行っている。授業では、社会人としてのマナーや仕事の基本、業種・職種の理解と派遣先の企業研究、インターンシップの目標設定、履歴書やお礼状の書き方、訪問時の注意点などを理解させている。
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細(記述欄)	学生に実習ノートを配布し、日誌形式で研修日時・場所・内容、今日の反省・感想・明日への課題などを毎日書かせ、派遣先の指導担当者による確認を課している。報告会では、パネルディスカッション形式で代表者の発表を聞いた後、各自がインターンシップで成長した点や働くことへの意識が前後でどう変わったかをレポートさせている。
	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細(記述欄)	すべての学生の実習中に企業等を訪問することはできないが、事前訪問に同行するなどして対応している。
要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をインターンシップの実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている
	4-2.以外で実施している教育的効果を測定する仕組み(記述欄)	
	4-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	事前学習にあたる「インターンシップ入門」で事前アンケートを行い、インターンシップ後に提出させる実習ノートでは自己評価や振り返りを書かせ、学生自身の気づきを促すとともに、プログラムの検証・改善に使用している。
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合(記述欄)	5～7日間
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合(記述欄)	
	5-2.以外の実施期間の内容(記述欄)	
	5-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	企業等での就業体験は、実働7時間×5日間を基本として、30時間以上を確保している。
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	4.受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している
	6-2.以外で実施している大学等と企業の協働取組の内容(記述欄)	
	6-3.上記回答内容に関する詳細(記述欄)	企業等に学生記入シートの記入・提出を依頼している。学生評価シートは、初日・中日・最終日の勤務状況、学生にフィードバックするコメント、本学に対する意見等で構成されている。
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	国際短期大学 学科・コース案内 科目表 http://www.kokutan.net/education/course/subject.html
問い合わせ先	大学等名	国際短期大学
	担当部署名	教務学生支援室
	担当者役職名	キャリア支援担当
	担当者氏名	遠藤麻帆
	電話番号	03-3385-2225
	メールアドレス	career@kokutan.net